

● 短期大学の共通科目 [2011年度] ※下記は平成23年度開講予定の科目であり、変更の可能性があり。

- 必修科目…必ず修得しなければならない科目です。
- 選択必修科目および選択科目…選択必修科目は所定必修科目以上の科目を履修し、修得しなければならない科目です。選択科目は自由に選択し、履修することができる科目です。

科目	内容
基礎教養科目	● スポーツ 体育の価値を自分たちで追究し、より充実した学生生活、そして生涯、健康な生活を送るためのヒントになる授業を展開します。
	● 情報処理演習I Windows Vistaを使い、ワード、エクセル、パワーポイントがすらすら活用できるように学習するコンピュータ演習授業です。
	■ 情報処理演習II 基本的な情報処理ができるようになったら次のステップとして、さらに応用的活用ができるように学習していきます。
	● 英語 前期はリーディングとライティング、後期はリスニングやスピーキングに焦点をあてて英語の基礎から総合力を養います。
	● 国語表現 日本語の「読む」「書く」「聴く」「話す」に関する基本的な技術を身につけます。
	■ キャリアプランニング 社会人として必要なコミュニケーション能力とビジネスマナーの向上をめざした授業を行います。
	■ 選択英語 ささまざまなジャンルの英文を読み、英語力をより向上させます。
	■ インターンシップ キャリア開発の一環として企業、公的機関、NGOなどで2週間程度の就業体験をします。
	■ 先人たちの知恵と思索 西洋と東洋の先哲が残した言葉を手がかりに、人間が生きていることの意味について考えます。
	■ 女性と法律 家庭生活や社会生活は法律と深く関連しています。結婚、相続、脳死など、具体的な場面を想定して法律を学びます。
共通科目	■ 日本国憲法 国の基本的なルール・憲法では、人間らしく生きる権利などがどう定められているか、生活との関わりを中心に考えます。
	■ 女性と社会 現代社会の(女性・教育・福祉・企業・家族)等の領域の基礎的な知識を女性の視点から学び、社会人としての一般教養をはくみます。
	■ 女性とファッション 一日の気分が服装で決まることってありませんか? 人の第一印象も服装から受ける部分も少なくありません。女性にとって必要なファッションのルールや色合いなど広義に渡って講義します。
	■ 暮らしの中のEco Eco(Ecology)といっても、たくさん意味があります。この授業では、生態学や社会的なことも、家庭のなかのエコ、エコ・ファッション、みなさんが身近に起きている&起こせるエコな活動について学びます。
	■ 女性と健康 スポーツという身体活動における人間のこころと身体への影響など、人間の生命・運動・健康に関する幅広い知識を学びます。また、女性としての身体と健康についてのリアリティあるテーマを取りあげながら学び合うことを目標とします。
	■ 暮らしの経済 生活を取り巻く社会的環境がどのように変わってきたかを考察し、将来への新しい選択の可能性を探ります。
	■ 暮らしの心理学 人間理解の一端として「人の心の世界」を分析・理解し、よりよく生きる糧とします。
	■ 女性と食物 食物の生産や環境、食の安全性、また身体に必要な栄養素の役割などを学び、将来の食生活について考えます。
	■ 音楽 日常よく聴く音楽からクラシックまで子どもの頃聴いた曲などを取りあげ、音楽の役割を考察、生涯学習として取り入れる方法を探ります。
	■ 美術 美術鑑賞や、表現のものとなる造形あそびなどを通して、造形美術を愛好する心情、創造する喜びや、楽しさを学びます。
総合科目	■ 日常生活とコンピュータ 日常生活に関わるコンピュータのしくみを知り、さまざまな電子機器に慣れ親しみます。

● 文学科 国語国文専攻 科目一覧 [2011年度] ※下記は平成23年度開講予定の科目であり、変更の可能性があり。

- 必修科目
- 選択必修科目および選択科目

科目	内容
必修科目	● 日本文学/芸術文化入門 文学や芸術の歴史、具体的な作品や研究・評論などを手がかりに、文学、芸術の姿と私たちの関わりなどを考察します。
	● 基礎書道 最古の漢字から唐時代までの名筆を鑑賞し、基本的な楷書から行書、草書まで、古典に立脚した正しい書法を学びます。
	● マスコミ・メディア総論 放送、新聞、出版など、現代社会のメディアの役割を、具体的な考察を含めて検証していきます。
	● 文学/芸術総論 ささまざまなキーワードをテーマに、言語学、民俗学、比較文学などの側面から、文学・芸術について多角的に考察します。
	● 基礎講読 文学評論の講読を通して、日本文学、芸術文化およびメディア表現を学ぶための基礎的な知識や思考力を身につけます。
	● 文章表現論 (書く)ために必要な基礎的事項についての講義と、それに関連した作品やレポートの実作演習を行います。
	■ 日本文学史(古代) 上代・中古文学の代表的な作品を通して、日本文学の始まりとその展開、文学の歴史的な背景などについて学びます。
	■ 日本文学史(中世・近世) 文学史の意義を考えながら、日本の中世(戦乱期)と近世(泰平期)文学の特質と各時代の精神について考察します。
	■ 日本文学史(近現代) 明治・大正・昭和にかけての近・現代文学史を通観し、数多くの小説を紹介するなかで、自らの「文学史」を構築することを試みます。
	■ 日本文学・文化演習 日本文学・文化に関するさまざまなテーマにもとづいてディスカッションなどを行い、研究成果をまとめたり、創作を行います。
選択必修科目	■ 硬筆書道 正しく美しいペン字を目標に、基礎から実用書式、作品制作までを学びます。希望者には硬筆書写検定の受験指導もします。
	■ 日本語文法(現代語) 口語文法についての理解を深め、言語感覚を磨き、日常のなかで言葉をも自覚的に使う習慣を身につけます。
	■ 漢文学を楽しむ 日本の古典の源流となった李白、杜甫、白居易など、唐詩の名作を読み、訓読、読解、鑑賞の能力を高めます。
	■ 現代表記 漢字・平仮名・片仮名などを用いる現代の日本語表記法の実態と問題点、明治以降に成立した表記法の歴史を考察します。
	■ 音声表現論 音声表現の演習を交えながら、発音やアクセントなどの日本語の特色や、日本人の話すことばの問題を取り扱います。
	■ 日本文学特講(古典の中の生と死) イザナギ・イザナミの黄泉の国訪問神話、万葉集や日本書紀などの日本の古典文学を読み、現代の私たちに与える死と生を考えます。
	■ 日本の歴史 現代史に焦点をあて、「昭和史」を概観し、世界と日本がどのような関係をもってきたか、満州事変以降の戦争の本質は何だったのかを考察します。
	■ 外国文学 英文学を基礎に、2か国以上の文学テキストに見られる交流や影響などを考察し、世界的な文学の流れを明らかにします。
	■ 中国文学 日本文化の根底をなす漢字文化について理解を深め、中国の古典を読解しつつ、日本文化との関係を探ります。
	■ 比較文化論 フランス文学のクロード・ド・ブーワと日本文学の小林一茶を比較研究します。
選択科目	■ 精神文化論 環東シナ海文化という視点から、日本とその周辺の地域の民俗を比較し、日本列島の人と文化について考えます。
	■ 書物の文化 明治以前の書物である(和本の種類・しくみ・装丁・とり扱い)の方法をはじめ、書物をめぐる歴史と文化を幅広く学びます。
	■ マンガ文化論 世界に誇れる日本のマンガ文化を、マンガの表現の歴史や表現方法、効果、描き方、市場、テレビマンガの現在、主題歌、マンガ批評や理論など多様な視点から考察します。

- 必修科目
- 選択必修科目および選択科目

科目	内容
必修科目	■ 日本文学の世界 源氏物語五十四帖の原文をピックアップして読み、源氏物語とはどのような物語なのか、どのように変化していったのかをつかみます。
	■ 中古文学論 清少納言が生きた後宮社会とその時代背景に留意し、「枕草子」は何を描き、何を描かなかったかを考えます。
	■ 中世文学論 中世の随筆「徒然草」を読んで、古典作品に親しみ、作者兼好法師が考えていたこと、感じていたことを理解します。
	■ 近世文学論 西洋と東洋の文学の文学を考へ、芸術にとつて旅とはなにか? を考えつつ、江戸時代のいくつかの紀行文を楽しく読みながら、その独創性を考えます。
	■ 現代文学論 吉本ばなな・江國香織・湯本香樹実の小説を読み、映画化されたものと比較することで、「小説」というジャンルの特性を考えます。
	■ 児童文学 おとぎ話、童話などを含めて、児童文学が成立する以前の作品、作家を紹介し、児童文学とは何かについて考察します。
	■ 日本語文法 古典文法の基礎を学びます。文法への理解を深めると同時に、実際に古典を読解する際に役立てる習慣を身につけます。
	■ 説話の世界 安倍晴明の説話や伝承を読み解き日本文化のなかの隠れた多様な領域を探ることを試みます。
	■ おとぎ話と紙芝居 ドイツのグリム童話と日本昔話を比較します。また日本のオリジナルな様式である紙芝居の歴史を学びながら、楽しく実演朗読や創作も行います。
	選択必修科目
■ 小説入門 ファンタジーや絵本など、児童文学のビュアな想像力の世界にふれ、また実際に自由に創作し、表現力を高めます。	
■ 近現代の文化 これまで評価の低かった庶民生活の観点から日本の近代文化史を見直していきます。	
■ 文学とジェンダー 日本文学に描かれた女性像について、家族と恋愛の視点から考えます。ジェンダー(文化的性差)が大きなテーマです。	
■ 日本語の世界 音韻論、文字論、語彙論を中心に、方言や敬語についてふれながら、国語学とはどのような研究を行う学問か概説します。	
■ ことばの文化 辞書についての理解を深めるとともに、よりよい利用法などを考えます。また、近世～近代の作品に見える異字体について考えます。	
■ 地域文化論 農業を営みながら、地域の情報発信と全国ネットワークを実現した女性のエッセイを読み、現代日本の地方・地域文化を考えます。	
■ 近代文学論 日本近・現代文学を代表する(都市)をめぐる短編を読み、「(都市)」について考えるとともに小説を読む基本的な姿勢を身につけます。	
■ 落語研究 落語という大衆芸能について、VTRやテープによる鑑賞を通じてさまざまな角度からその本質を考えていきます。	
■ 映像論 映像をテキストとして分析します。映像テキストの構造を細かく分析することで、文学テキストの分析にも応用できるようにします。	
選択科目	■ 俳句入門 近代俳句の歴史と方法を学び、俳句と連句を創作します。詩作を通して、詩心と豊かな想像力を養います。
	■ 書を楽しむ 1年次で学んだ古典の技法を活かした作品を制作します。現代の言葉を誰にも読めるように表現する「漢字かな交じりの書」に挑戦してみます。
	■ エッセイ入門 原稿執筆の基礎的練習、文の照応や語法、文章構成を考察します。さらに、実際にエッセイを書き、書く喜びが味わえるよう、学びます。
	■ 小説入門 理論編と実践編にわけ、小説の読み方と同時に書き方を学びます。古今の名作を参考に自分の作品を仕上げます。
	■ 書を楽しむ 書は文字を素材にした芸術です。古筆の文字を基本に感性を磨き、私たちの生活のなかで書や書道として取り入れていきます。
	■ 俳句入門 近代俳句の歴史と方法を学び、俳句と連句を創作します。詩作を通して、詩心と豊かな想像力を養います。
	■ ミュージカル論 17世紀のオペラから発展していったといわれるミュージカルを、年代別・作品の形態別・作者別に考察し、魅力を探ります。(観劇あり)
	■ 宝塚研究 創立95周年を迎えた宝塚歌劇の出発期から現在までの歴史とともに文藝、音楽、舞踊、演劇などのさまざまな特質を研究します。(観劇あり)
	■ 芸術文化論 美学の基礎概念を学び、さらに思想上に現れたさまざまな「美」の論議について考えます。
	■ 編集デザイン デザインを主軸に歴史をたどり、その時代の表象世界をかき見ること、時代精神やその時代の価値観について討論します。
選択必修科目	■ 演劇史 西洋演劇の歴史的展望を得ることをめざし、その近代日本への導入の経緯について比較文化的に考察します。
	■ 演劇論 現代演劇の傑作を厳選し、それらの舞台を具体的に分析、そこに隠された魅力、意味を探ります。
	■ 古典芸能の世界 中世の芸術論でも際立つ世阿弥の「能楽論」を読み、先人の芸に対する厳しさと人間の内面への洞察にふれます。
	■ 仏教美術 仏像をはじめとする仏教美術について、思想や信仰との関わりを軸に考えます。
	■ 日本の芸術理論 世阿弥の能楽論である「風姿花伝」など、日本の古典的な文学論・芸術論を時代を遡って眺め、芸術について考えます。
	■ 民俗文化論 民俗学の祖、柳田国男の生涯と思想を見ながら、年中行事や通過儀礼など、日本の民俗社会の「時間」について考えます。
	■ 文学とジェンダー 日本文学に描かれた女性像について、家族と恋愛の視点から考えます。ジェンダー(文化的性差)が大きなテーマです。
	■ 地域文化論 農業を営みながら、地域の情報発信と全国ネットワークを実現した女性のエッセイを読み、現代日本の地方・地域文化を考えます。
	■ 美術デザイン デザインを視覚言語によるコミュニケーション媒体としてとらえ、デザインの今日のさまざまな意味について考えます。
	■ 映像表現法 映像について具体的な、実践的に理解し、時にはデジタルカメラで撮影を行うなどの実習を通して、的確な映像表現ができるように学びます。
選択科目	■ 落語研究 落語という大衆芸能について、VTRやテープによる鑑賞を通じてさまざまな角度からその本質を考えていきます。
	■ 映像論 映画の映像がどのような仕掛けで観客をその世界に引き込むのか、映画をテキストとして分析し、批評意識を高めます。
	■ 情報社会文化論 多様なメディアがあふれる現代の情報社会の流れのシステムを把握し、論じることについての正しい視点と表現力の習得を目標とします。
	■ ライフデザイン メディアに登場した人々の意識や行動を、生活実態や福祉制度と結びつけて理解することによって、等身大の福祉社会を考察します。
	■ 地域文化論 農業を営みながら、地域の情報発信と全国ネットワークを実現した女性のエッセイを読み、現代日本の地方・地域文化を考えます。
	■ メディア社会論 視覚障がいのある芸術家や埼玉の偉人(堀保一)、ヘレン・ケラーの生き方について学びます。また日本点字図書館を見学します。
	■ 近代文学論 日本近・現代文学を代表する(都市)をめぐる短編を読み、「(都市)」について考えるとともに小説を読む基本的な姿勢を身につけます。
	■ 王朝文化とメディア 通信手段の発達していない1000年前の王朝社会で行われていた高度なメディアテクニックを振り返り、本当にメディアとは何かを考えていきます。
	■ 編集デザイン ワードプロ、コピー機などの道具を使って編集デザイン・本づくりにトライしたり、写真撮影を通して、自由な表現を試みます。
	■ 映像表現法 映像について具体的な、実践的に理解し、時にはデジタルカメラで撮影を行うなどの実習を通して、的確な映像表現ができるように学びます。
選択必修科目	■ 美術デザイン デザインを視覚言語によるコミュニケーション媒体としてとらえ、デザインの今日のさまざまな意味について考えます。
	■ 落語研究 落語という大衆芸能について、VTRやテープによる鑑賞を通じてさまざまな角度からその本質を考えていきます。
	■ 映像論 映画の映像がどのような仕掛けで観客をその世界に引き込むのか、映画をテキストとして分析し、批評意識を高めます。
	■ 民俗文化論 民俗学の祖、柳田国男の生涯と思想を見ながら、年中行事や通過儀礼など、日本の民俗社会の「時間」について考えます。
	■ 文学とジェンダー 日本文学に描かれた女性像について、家族と恋愛の視点から考えます。ジェンダー(文化的性差)が大きなテーマです。
	■ エッセイ入門 原稿執筆の基礎的練習、文の照応や語法、文章構成を考察します。さらに、実際にエッセイを書き、書く喜びが味わえるよう、学びます。
	■ 小説入門 理論編と実践編にわけ、小説の読み方と同時に書き方を学びます。古今の名作を参考に自分の作品を仕上げます。
	■ 俳句入門 近代俳句の歴史と方法を学び、俳句と連句を創作します。詩作を通して、詩心と豊かな想像力を養います。
	■ 古典芸能の世界 中世の芸術論でも際立つ世阿弥の「能楽論」を読み、先人の芸に対する厳しさと人間の内面への洞察にふれます。
	■ 仏教美術 仏像をはじめとする仏教美術について、思想や信仰との関わりを軸に考えます。
選択科目	■ 日本の芸術理論 世阿弥の能楽論である「風姿花伝」など、日本の古典的な文学論・芸術論を時代を遡って眺め、芸術について考えます。
	■ 日本語の世界 音韻論、文字論、語彙論を中心に、方言や敬語についてふれながら、国語学とはどのような研究を行う学問か概説します。

◎ 文学科 英語英文専攻 科目一覧 [2011年度] ※下記は平成23年度開講予定の科目であり、変更の可能性があります。

実=実用英語コース、英=英語英文学コース ● コース必修科目 ■ コース選択必修科目および選択科目

科目	実	英	内容
ベシクコミュニケーションスキルズ	●	●	日常的な場面での英語コミュニケーションの基礎を学びます。
自己表現スキルズ	●	●	コミュニケーションスキルに加え、自分に関する情報を伝え、意見を述べる力を身につけます。
コミュニケーションスキルズ	●	●	日常的な場面からさらに発展した内容に関してコミュニケーションができる力を身につけます。
リーディング	●	●	語彙・表現力の向上はもちろんのこと、英文の論理構成を学び、速読も行います。
リスニング	●	●	英語の音変化に加え、さまざまな分野の題材を扱い、内容理解を深めます。
ライティング	●	●	英文法や文の構造に関する知識を深め、文単位からパラグラフ、エッセイ単位で英文を書く訓練をします。
英語音声学	●	●	母音や子音、ストレスリズム、イントネーション、さらに音変化について体系的に学びます。
英米文学史概論	■	●	英米文学の歴史の流れを考察し、その時代の代表作家と作品について学びます。
英文法	■	●	主要な英文法を体系的に学び、さらにそれらにもとづいた正確な英文を読み書きできる力を身につけます。
英語学概論	■	●	英語という言語の輪郭と背景を学び、さらに第二言語/外国語としての英語習得プロセスやメカニズムについて考察します。
アドバンスリーディング	■	●	英文の論理構造に焦点をあて、エッセイの主旨を的確に把握し、素早く内容把握する力を身につけます。
アドバンスリスニング	■	●	英語の音変化を学ぶことに加え、まとまった量の英語を聞いて内容把握できる力を身につけます。
アドバンスライティング	■	●	文単位から発展し、まとまった量の英文を英語の論理構造に則ったパラグラフやエッセイとして書くことのできる力を身につけます。
英米文学研究入門	■	■	イギリス文学、特にこの授業ではいまなお人々を魅了し続けているシェイクスピア作品の魅力について学びます。
英米文学作品研究	■	■	19世紀ヴィクトリア朝の英米作家、プロテ3姉妹のなかのエミリア・プロンテの『嵐が丘』を読み、文学的価値を考察します。
英米文学評論	■	■	文学作品の読み方、その批評の仕方について学びます。
比較文学	■	■	イギリス文学と日本文学に焦点をあて、イギリス文学が日本の特定の作品や作家にどのような影響を与えたかを考察します。
英語児童文学	■	■	欧米の子どもたちによく読まれている児童文学作品を読み、英語児童文学に関する知識を深めます。
児童英語教授法基礎	■	■	幼児や児童に英語を教えるための基礎知識と指導法の基礎について学びます。
児童英語教授法実践	■	■	児童英語教授法基礎からさらに発展した知識を身につけ、指導法を実践的に身につけます。
中国語入門	■	■	中国語の発音・文法、基本表現、日常会話、慣用語、さらに中国の歴史的、文化的背景を学びます。
フランス語入門	■	■	フランス語の発音訓練や会話の練習を通して、実際に使えるフランス語を学びます。
イギリス研究	■	■	音楽、家庭、食べ物、祭りごと、スポーツなど、イギリスの生活や文化背景について学びます。
アメリカ研究	■	■	地理、歴史、多様性など、アメリカ合衆国の文化について理解を深めます。
カナダ研究	■	■	カナダに住む人々、歴史や習慣などについて学びます。
アジア研究	■	■	APEC(アジア太平洋)諸国の経済と文化を中心に学びます。
海外英語研修	■	■	夏休みの3~5週間、アメリカ、イギリス、カナダのいずれかの国において、英語集中講座に参加し、ホームステイを体験します。
海外事情	■	■	海外の政治、経済、歴史、社会など英語運用能力の背景となる知識を幅広く学びます。
異文化間コミュニケーション	■	■	異文化コミュニケーションには言語能力だけでなく、相手の国の文化への理解が大切なことをさまざまな事例から学びます。
ディズニー研究	■	■	ディズニーの歴史やその文化的背景などディズニーに関して多角的に学びます。
日本の文化	■	■	日本の伝統美であるものについて、その現在と過去を学び、実際に着付けができるように訓練します。
プレゼンテーションスキルズ	■	■	効果的に自分の意見を第三者に伝える方法について、パワーポイントによるプレゼンテーション演習を通して学びます。
ビジネス英会話基礎	■	■	ビジネスの場で必要な語彙や表現、習慣に関する基礎を身につけます。
ビジネス英会話応用	■	■	ビジネス英会話基礎をさらに発展させ、ビジネスの場での意思疎通が図れる表現力や知識を身につけます。
上級英会話	■	■	一定以上の英語力をもった学生を対象に、日常的なことからさらに発展した内容のリスニングやスピーキングを訓練します。
ツーリズム英語	■	■	異文化を理解し、来日した外国人(観光客、生活者)に日本の文化を紹介するためのコミュニケーション能力を身につけます。
時事英語研究	■	■	政治、経済、社会、スポーツなど幅広い記事を取りあげ、英字新聞の読み方と時事英語読解力を養い、時事問題の理解を深めます。
ホームステイ英語	■	■	英語圏の国でホームステイする際に必要となる英会話表現や生活習慣などについて学びます。
インターネットコミュニケーション基礎	■	■	インターネットを利用した英語学習方法やe-mailでよく使われる基礎的な英語表現方法を学びます。
インターネットコミュニケーション応用	■	■	e-mailでよく使われる英語表現方法を学びながらブログによる情報発信や海外の人とのメールのやりとりなどを行います。
英語日記	■	■	日常生活の出来事を英語で書くことにより、生活に密着した英語を学び、表現力を高めます。
音楽英語	■	■	ポピュラーな英語の歌を通して、英語のリスニング力や正しい発音、リズムを学びます。
映画英語	■	■	英米の映画を取りあげて、映画の観賞法、文化的背景などを学ぶことにより、映画英語の理解を深め、また聴解力も高めます。
ファッション英語	■	■	服飾、デザイン、ファッションについて英語で表現できる能力を身につけます。学生によるファッションショーも行います。
日本語上級	■	■	日本語の初級・中級をマスターした外国人留学生を対象に、上級の読解・聴解・発表能力を高める訓練をします。
翻訳入門	■	■	英文を日本語に翻訳する際の留意点、技術などを学ぶことにより、表現力や正確できれいな翻訳ができる力を身につけます。
通訳入門	■	■	シャドーイングなど基礎的な通訳訓練を通して、日・英語の表現力や要約する力の向上をめざします。
TOEIC講座初級・中級	■	■	英語力を客観的に示せるTOEICのための学習を通して、日常生活やビジネスの場で頻繁に用いられる英語表現を身につけます。
ロジカルシンキング	■	■	第三者に論理的に伝える際に必要な思考法について学びます。就職活動にも役立ちます。

